ぶんげい

かねやま紅風会

夏去りや雲の流れる稲穂波
花を添え夫を忍ぶゆ秋日岸
夫の夢ふと目覚め外星月夜
　阿部　勝子（荒屋）

大輪の轟き渡る大花火
秋の夜孫の話に長電話
祭り客枝豆片手に生ビール
　関　喜美子（荒屋）

夕闇に夏空飾る遠花火
迎え火や祖先父母盆供養
夕空に歴史絵巻の宵祭
　庄司　けみ子（菅越）

雑子の音山里うねり流れ行く
静寂や優しく満ちる盆の月
夫の忌や蜩の鳴くタベかな
　青柳　キエ子（七日町）

みちのくや羽州街道紅葉山
蜘蛛の糸助け求める鬼ヤンマ
人の世とは大河を流れる木の葉
　阿部　一歩（上台）

金山杉俳句会　第五一五回

朴の葉に蝉の声受け日の暮れる
艶やかに芒の穂遥れ遊歩道
　阿部　一代（十日町）

サングラス外す手酌の百選水
ズンと来て眼あつめる大花火
　星川　キエ子（山崎）

迫りくる夜の静寂に百合の花
小葉閉じて眠っているのか令嬢の花
　岸　昭子（山崎）

帰省子の帰去来の声むづる孫
夏草の木立ちまぶしくせみしぐれ
　高橋　洋子（中田）

面影は口元にありかき氷
少年のピアスの光る山車祭
　鶴沼　よし子（十日町）

秋晴れの空切り裂きし飛行雲
白萩に道幅狭し六地蔵
　栗田　弥超（石巻市）

図書だより

今月のおすすめの２冊と新刊本をご紹介！

◀新刊本情報はこちら！
話題の新作やおすすめの本の情報をお届けします

永遠の記憶

東野圭吾/文藝春秋



ガリレオシリーズの最新作。内海薫刑事が刺された。犯人は70歳ほどの男だが、取り調べに対し黙秘を貫く。やがて内海に恨みを抱く若い女性が捜査線上に浮かんだが、犯人との関係は不明。最高峰の謎がいま明かされる。

いきものたちの言い分　その愛、正直メーワクです。

こざきゆう/KADOKAWA



いきものと飼い主の悲しきすれ違い！暑い日の散歩はイヌだってシンドイ。ウサギが好きなのは、ニンジンのオレンジの部分ではなく、葉っぱのところ。動物の気持ちを自分に当てはめることで命を危険にさらしているかも！

新刊本 10月

＼今月は８冊／

永遠の記憶（東野圭吾）／はじまりのスープ、夏ゼリー（瀬尾まいこ）／王国（湊かなえ）
楽園（夕木春央）／祇園の秘密　血のすり替え（山村紅葉）／ほごねこそつぎょうしき（玉木たま）
80代になるとたいていボケるか死ぬ。70代は神様から与えられた特別な時間（林真理子）
いきものたちの言い分　その愛、正直メーワクです。（こざきゆう）

※（　　）内作者名

ほっとクリニック

町立金山診療所
#207

町立金山診療所
小児科 藤山（ふじやま） 純一（じゅんいち） 先生

◀外来担当医師はこちら

おなかがいたい

子どもは時々「おなかがいたい」と言います。本当の病気のこともあれば、心の問題のこともあります。まず聞いてみます「いつから？どの辺が？強くなってきた？吐き気は？便は？熱は？」あまり辛そうではなかったり、まもなく収まるような場合は様子を見てよいのですが、次のような場合には急いで小児科を受診しましょう。「我慢できない痛みが続く」「おなかが硬く張っている」「歩いたり立ったりできない」「便に血が混じる」「緑や茶色のものを吐く」「そけい部や陰部を痛がる」など。

腹痛の原因の第一は便秘です。普段の便通はどうでしょう。診察するとお腹は柔らかく、左側や下側に便がコロコロ触れて、浣腸すると便が出て痛みが収まります。第二は感染性胃腸炎です。急に腹痛や嘔吐がありぐったりします。おなかを聴診するとグルグルと腸雑音が聞こえ、押すと水っぽい柔らかさです。吐き気止めの座薬や整腸剤を処方します。おなかに異常がなくても風邪や中耳炎などの熱に伴って腹痛を訴えることもよくあります。

見逃していけない病気の第一は乳児の腸重積（ちょうじゅうしゃく）です。急な腹痛と嘔吐があり、痛みは周期的で血便が出ることもあります。浣腸で血便が出たり、触診で右上に腸のしこりや圧痛があったら急いで整復術が必要です。第二は急性虫垂炎です。大きい子は右下腹部の圧痛がありますが、乳幼児ははっきりせず診断が難しいことがあります。また下腹部の痛みがそけいヘルニア（脱腸）の嵌頓（かんとん）（腸が出て捻じれること）や精巣捻転（せいそうねんてん）によることがあり、下腹部痛のときにそけい部や陰部を確認することも必要です。また、まれな病気ですがIgA血管炎（けっかんえん）のときには手足に発疹（紫斑）や関節痛がみられ、胃・十二指腸潰瘍（いじょうかいよう）のときには貧血や家族のピロリ菌感染が診断の手がかりになることもあります。

以上のような症状や病気がはっきりせず、腹痛の訴えを繰り返す場合は心因性の反復性腹痛（はんぷくせいふくつう）を考えます。特徴は週一回以上、三ヶ月以上続く腹痛で、休日にはおきない、明らかな疾患が見つからない、その周りの痛みなどで、家庭内の問題、園や学校でのストレス、親との分離不安などが原因と考えられており、詳しくお話を聞くことが大切です。



東京と金山をつなぐ VOL.90
東京金山会通信



【問合せ】　東京金山会 広報担当　藤山　☎080-5525-0435

東京に広がる花笠の輪
第88回県人まつり

9月6日、ホテルニューオータニ「鶴の間」で、「令和8年度山形県人東京連合会　第88回総会・県人まつり」が開催され、東京金山会からも10名が参加しました。当日は、県内外から600名を超える山形県ゆかりの皆さんが集まり、広い会場は大いに賑わいました。各団体による交流や情報交換も活発に行われました。

第1部の総会では、山形県人東京連合会の五十嵐長次会長による挨拶などに続き、吉村美栄子山形県知事から来賓祝辞が述べられました。吉村知事からは、現在の県域が確定してから150周年を迎えた山形県の歩みを振り返るとともに、令和9年にデビューを控える新品種「ゆきまんてん」をはじめとする県産米の魅力や観光、県産品の振興を通じた今後の発展に向け、力強いメッセージが寄せられました。

第2部の県人まつりでは、歌謡、舞踊ショーや、ふるさと山形からのお知らせ、抽選会など多彩な催しが行われました。なかでも会場を大いに盛り上げたのが花笠パレードです。踊り手だけでなく、会場の皆さんも次々と輪に加わり、東京金山会のメンバーも、吉村知事や参加者の皆さんと一緒に花笠を手に踊りました。華やかな衣装と威勢の良いかけ声に包まれ、会場全体が一つになる、山形らしいにぎやかなひとときとなりました。

東京金山会の参加者も、各地域の皆さんと親睦を深め、山形と首都圏を結ぶ人のつながりの大切さを、あらためて感じる一日となりました。今後も東京金山会では、こうした交流の機会を大切にしながら、ふるさと金山の魅力を首都圏へ伝えていきます。





